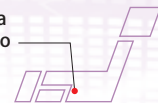


大阪ハイテック研究創造開発センター

Osaka
Nanko

未来都市メディアポートより

次世代のニューグローバルテクノロジーを極進し、世界のR&D基地を目指す。



FCS-Pデモ機



走査型電子顕微鏡-X線マイクロアナライザ



環境及び振動の複合試験

昭和63年に大阪南港に設立された**大阪ハイテック研究創造開発センター**。

ここは、まさに**フジキン**の技術開発の総本山ともいえるハイテック技術の発信基地。この研究所内には、清浄度世界一のレベルを誇るクラス1のウルトラスーパークリーンルームや各種の最先端設備が導入され、数々のテーマに対して、ハード、ソフトの両面にわたるさまざまな研究を通して、次世代超精密ながれ(流体)制御機器の創造開発を行っています。

たとえば、ICT(情報通信技術)を加えたながれ(流体)制御機器をはじめ、各種自動組立、加工、検査、包装装置から、国際科学博覧会「つくば万博」に出展された「泡の宇宙・コズミックバブルス。」などの開発を行うとともに、新素材(セラミック、FRP等)の応用機器、超高真空の分野や、特殊研磨技術の開発など、刻一刻と多様化していくニーズにもフレキシブルに対応できる研究体制を確立。また、宇宙ロケット用、原子力用、半導体用などの特殊精密ながれ(流体)計測計装機器、電気機器類、特殊精密電子ながれ(流体)制御ユニットシステム装置、およびクリーンエンジニアリング、フレッシュテクノロジーに関するすべてについて時代のウォンツに応えるべく、次々と新しい研究を行なっています。

技術情報誌

「ながれとともに
ながれをこえて」の刊行。



創業70年を迎えるにあたり、**フジキン**の事業内容「ながれ(流体)制御技術」にちなみ、技術情報誌「ながれとともにながれをこえて」を発刊しました。このような情報収集、発信活動は「本モノづくり」の追求に徹し、中堅企業から中心企業への進展を志向する**フジキンカープグループ**にとって必要不可欠な事業活動の一環であると考えております。



Newテクノマート



創業80周年を迎えたことを機に、グループの社是、社訓にあります「温故創新」に基づき「創」の文字を謝恩の印と定義しました。NEWテクノマート情報誌「創」は、知財活用の活性化を目的に、**フジキンカープグループ**の総力を上げて創刊。謝恩の心で日本ものづくりの原点と未来を見つめて参ります。